

## ● 山形県天童市（7月23日）

【人口】 62,644人 【面積】 113.01k㎡ 【一般会計総額】 186.3億円

### ◆調査事項

### 「新駅設置構想について ～芳賀地区土地区画整理事業～」

#### ◇天童市芳賀土地区画整理事業（組合施行）の概要

芳賀地区は、天童駅西側から南方約2kmに位置し、既成市街地と隣接している。本地区内には、4車線の主要な都市計画道路をはじめ、他に3路線の都市計画道路が計画されている。本地区は、東側はJR奥羽線、北側は南小畑土地区画整理事業により整備された良好な市街地及び現況宅地と隣接しており、利便性の高い良質な住環境の形成と生活と交流の拠点の創出を図り、健全な市街地を造成することを目的としている。

- ・事業主体 天童市芳賀土地区画整理組合
- ・事業費 10,126,600千円
- ・地権者数 197人
- ・事業期間（予定） 平成19年度～平成28年度（予定）
- ・計画人口 4,000人
- ・計画住宅戸数 1,300戸
- ・施行区域面積 73.2ha

#### ・主な公共施設

##### □道路施設

##### ・都市計画道路4路線

天童山形空港線	L = 1,204m	W = 28m	(両歩道幅員4.5m)
小幡芳賀線	L = 1,168m	W = 18m	(両歩道幅員4.5m)
長岡北芳賀線	L = 354m	W = 20m	(両歩道幅員4.5m)
松城芳賀線	L = 424m	W = 15m	(両歩道幅員2.5m)

・区画道路 L = 17,595m W = 6m～18m

・特殊道路 L = 379m W = 4m

□公園（近隣公園1箇所、街区公園3箇所） A = 22,000㎡

□緑地（第1～6号） A = 9,925㎡

□調整池（1箇所） A = 12,300㎡

・合算減歩率 49.90%

（公共減歩率 24.62%、保留地減歩率 25.28%）



※写真手前が南  
（山形市方面）  
写真奥が北  
（東根市方面）

撮影：平成21年  
9月14日

## ・委員の感想

- 天童市の住宅建設について、今迄の造成で100%売れている。同市は雪害が少なく深雪地区から移転が多く、仙台に約40分で移動できる優位性がある。

人口は、62,176人と減少しているが、世帯数は、19,727戸と増えている。

同市のさくらんぼの出荷は日本一で、6月から12月までに（さくらんぼ・プラム・もも・ぶどう・りんご・ラフランス）があり、天童市推奨果樹園（19箇所）がある。

将棋の駒は、全国の将棋駒生産量の大部分を生産しており、市内の将棋駒製造業は、零細家内工業的事業所が大部分である。

- 天童市の人口は、平成14年度以降、減少の一途をたどっている中で、土地区画整理をされておられる点に、当初、疑問を感じました。一般的には、人口が増え続け、無作為に開発されると行政にツケが回ってくるから、計画的に土地区画整理事業を行ない、市民に安全で安心出来る環境整備を図る必要性を感じていました。

当市は、住民の環境整備を図ることで、魅力ある天童市に人を張りつけるという発想は、勉強させられました。心配な点は、雇用の場が確保されていない点で、人が集まってくるのか懸念しています。

- 山形市近郊に位置し、降雪量も少ない地勢的な優位性なのか、造成団地は順調な販売とのこと。県内中山間地域からの人口流入など好条件に支えられての事業だが、随分とわが市と異なっている。

わが市の場合、“売り（セールスポイント）”づくりが大切。

“人にやさしく、住み良い地域”“産業立地の好条件”“産直消費可能な安心農漁産品”づくりと合わせた戦略的なプランに基づく事業が必要と思いました。

- 天童市の場合、対象住民が、区画整理事業慣れしていて、意識は非常に高く、官民一体となつての事業による姿勢が見られ、まちづくりの根幹をなしている様感じた。

行政サイドの戦略もうまくいっているよう、痛切に感じた。

真に、小さな面積の中、温泉と将棋とさくらんぼ等の果実の明確なフレーズあり、市民と行政の一体感はずばらしい。



- 平野である事、区画整理を何事業も行って、住民も理解を示している事が事業を行いやすくしている。我が市では地形の悪さと道路、上下水道の遅れ（年次計画）があり、なかなか住民の理解が得られないと思われる。市全体の構想を市民に示して計画的に進める必要がある。

- 好条件に恵まれて進められていると思った。また、周囲の県から移住希望が多い事も何よりの利点である。新町の形成に諸々の利点が多いと思った。